

平成 30 年度 がん看護研修Ⅲ 研修計画書

名古屋大学医学部附属病院

研修目的	がん患者に対する看護の質を高めるため、専門的な臨床実践能力を育成する。
一般目標	1. がん患者の QOL 向上に向けて、専門的な知識に基づいた看護を実践できる。 2. 臨地実習を通して理論的知識と実践の統合を図ることができる。
行動目標	1. がん患者の身体的・心理的・社会的・スピリチュアルな状況を包括的にアセスメントすることができる。 2. 包括的なアセスメントに基づいて、患者と状況にあった看護援助の計画・実施・評価ができる。 3. がんに伴う症状に対して、科学的根拠に基づいた症状緩和の援助ができる。 4. 患者・家族に対してがんとの共生を支えるためのセルフケア支援ができる。 5. がん患者・家族に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる。 6. がん患者の個別的なニーズに対応するために多職種と連携できる。 7. 事例を通して、実践した看護を理論的知識に基づいて考察し、まとめることができる。
対象者	以下の要件に全て該当する看護師 1. がん医療に携わる看護師で実務経験 4 年以上かつがん看護領域の実務経験 3 年以上 2. ラダーレベルⅢ以上 3. がん看護研修Ⅱ緩和ケア又はがん化学療法看護コース修了者(今年度、受講予定者も可) 4. 研修期間全ての受講が可能
募集人数	6 名程度
研修日時	平成 31 年 1 月 28 日(月)～2 月 8 日(金) 8:30-17:15 2 週間（講義 2 日間、実習 8 日間） 平成 31 年 3 月 15 日（金）午後 0.5 日（ケースレポート発表）
場所	講義：名古屋大学医学部附属病院 中診診療棟 B 6 階会議室 2 実習：婦人科/産科病棟、消化器外科一病棟、呼吸器内科/外科病棟、外来化学療法室
講師	がん看護専門看護師、がん看護領域の認定看護師、医師など
研修方法	講義・グループワーク・臨地実習・ケースレポート発表
事前準備	実習・研修に関する誓約書、抗体検査カード、電子カルテ利用誓約書、看護師免許証コピーの事前提出（書類は受講決定後に送付） 実習開始日までに損害賠償保険（看護協会の看護職賠償責任保険など）に必ず加入
研修前課題	配布資料（受講決定後に送付）を研修前までに読んでおく。
研修後課題	実習中に 1 事例以上のがん患者を受け持ち、ケースレポートにまとめて提出する。
修了要件	講義・実習とも 80%以上の出席 実習記録とケースレポートの提出
受講決定	受講の可否を平成 30 年 10 月下旬頃、看護部（局）長宛に通知する。
受講料	8,640 円（実習費として 1 日あたり 1,080 円×8 日）